

愛知県西三河地区産業界



2012年に竣工した180坪の新工場内に
並ぶガンドリルマシン（本間鉄工所）

愛知県統計課の2014年3月の報告によれば「本県の景気は、穏やかに回復している」と、明るい兆し。中でも西三河地区は「東日本震災」「サプライチェーン変化」「リーマンショック」「グローバル化」「次世代自動車」「エネルギー」「ワーカースタイル変革」などの課題に立ち向かってきた。そのパワーの要因には、「三河人気質」がある。

本間鉄工所（岡崎市）は旋盤・フライス盤を駆使した金型部品加工をはじめ、ガンドリルマシンを用いた深穴加工を手がける。深穴先端部のR形状加工と中ぐり盤による座ざり、斜め方向の深穴加工といった特殊加工が

評判だ。「ジャンボ」と呼ばれる大型機を含め、ガンドリル深穴加工機8台を、目的に合わせて使い分けている。「1、2個の

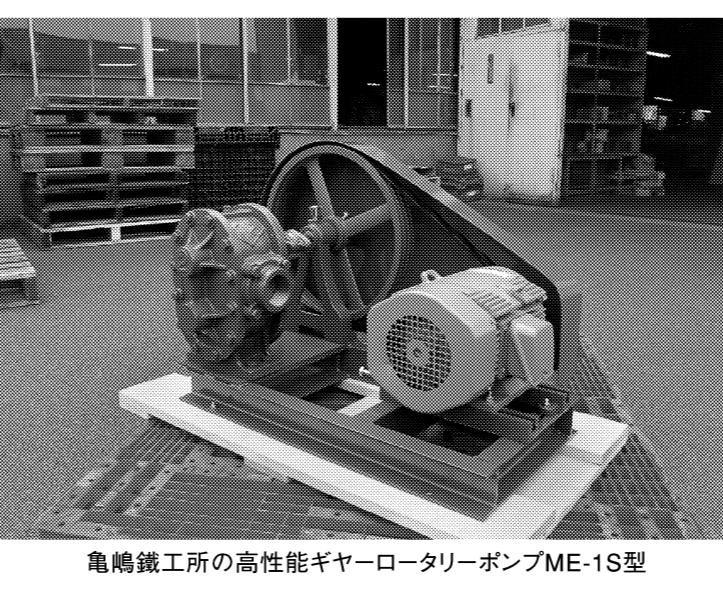
小口や急な発注でも受けている。当社を頼って注文してくれる顧客は大切にして当然」と本間社長。受注品は自動車部品用金型・航空機部品から事務機器部品・電子部品など多岐に渡る。「これは男の仕事だ」と感じた本間社長は、踏み入れた時の油において旋盤の音、「これが男の仕事だ」と笑顔で語る。最初で鉄工所に足を踏み入れた時の油の匂いとともに旋盤の音、それが何よりも印象的だったといふ。三河人って、堅実だから、派手さを好みないと思う」と語る本間社長の仕事への情熱は衰え知らずだ。

亀嶋鐵工所（碧南市）はポンプ専門メーカー。1938年に自社製品に惚れ込んで、自分自身の給料を限りなくゼロにして乗り越えた。工場や仕事、自社製品に惚れ込んで、からこそ会社を守りたかったという。「三河人って、堅実だから、派手さを好みないと思う」と語る本間社長の仕事への情熱は衰え知らずだ。

「安城の郷土史」によるところ、農業用水は豊田市で矢作川から取水し、この西三河地区に農業・工業用水を供給している。金額は幹線が88kg/m³、支線が342kg/m³の合計430kg/m³にも及ぶ。

明治用水で潤う西三河一帯

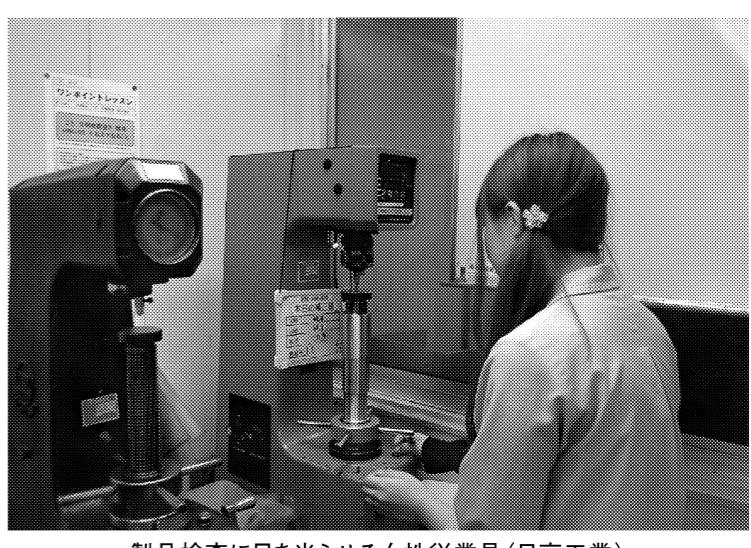
矢作川水源の明治用水で潤う西三河一帯



亀嶋鐵工所の高性能ギヤロータリーポンプME-1S型

モノづくりに向く「西三河人気質」

愛知県は尾張・知多地区、西三河地区、東三河地区と大きく三つに分かれている。その中央に位置する西三河地区は安城市、岡崎市、刈谷市、高浜市、知立市、豊田市、西尾市、碧南市、みよし市、幸田町の9市1町で構成される。世界を代表するモータータウンである豊田市をはじめ、自動車産業を中心につまざまな製造業が集積している。2012年度の愛知県工業統計確報によれば、西三河地区的事業所数は4157で県全体の約23%、製品出荷額は13兆7781億円で県全体の約45%を占める。製品出荷額で全国トップを維持し続ける愛知県にとって、西三河地区の存在は大きい。



製品検査に目を光らせる女性従業員（日高工業）

動機部品などの加工業としてスタートした。ギアボンプの製造を始めたのが1954年。以来、専門メーカーとして産業界の発展に貢献していく。亀島美社長は3代目。先代が他界し、2013年に跡を継いだ。社長に就までは別の企業で会社員をやっていた。しかし、これまでの工場への恩と従業員のことを思い、跡を継ぐことを決心したという。リーマンショックや大震災の

時は、いま、何をやるべきかを考え、時間を有効利用し「見直し」「改善」を行った。従業員とのコミュニケーションを大切にする亀島社長は、足繁く工場に顔を出し、声をかけて。「着実で控え目、自分自身を分かつているのが三河人から」と話す亀島社長は、今日も最前線で顧客の要望に応対している。

日高工業（刈谷市）は、熱変形を抑えた精度の高い熱処理加工メーカー

1. 自動車をはじめ、産業機器、建設機械などの

ボルトから各種部品まで取り扱う。不良が許されない重要な保安部品を扱う自動車業界で培った品質管理は、社は「安心・正確・親切」の表れ。同社を訪れた驚かされた女性社員の多さだ。

「本社、今岡、豊明の3工場で働く社員は約130名。その3割が女性」と今村順社長。女性ならではの手先の器用さやひたむきさが出荷前の品質

チェックに向けている

では「（今村社長）ハヤック（岡崎市）

は、塗装技術と独自の施

エンジニアリングを持つ。岡崎市、刈谷市を中心とした地域密着の工務店で特

に、外壁塗装を得意とする。

空調の負荷を低減させ、省エネ効果が狙える「遮熱・断熱塗装」が好

評。「先入観を持たずして徹底した事前調査ができることが当社の強み」と林昌元社長。現場ではNPO法人雨漏り診断士協会の認定を受けた職人（雨漏り診断士）が検査・発見・修理・塗装まで責任を持って行う。

●金属熱処理試験室

市、刈谷市を中心とした地域密着の工務店で特

に、外壁塗装を得意とする。

空調の負荷を低減させ、省エネ効果が狙える「遮熱・断熱塗装」が好

評。「先入観を持たずして徹底した事前調査ができることが当社の強み」と林昌元社長。現場ではNPO法人雨漏り診断士協会の認定を受けた職人（雨漏り診断士）が検査・発見・修理・塗装まで責任を持って行う。

●金属熱処理試験室

市、刈谷市を中心とした地域密着の工務店で特